

XIII. 現代音楽の表記法






(表 1 3)

1 3 - 1

標準の点字表記法は、可能ならばあらゆる種類の音楽において使うべきである。この章からの現代音楽点字表記法が使われる時は、それを説明する点訳者の注意書きが、同じ巻に記されるべきである。

A. まれな形の音符

表 1 3 A の記号

⠠⠠		符尾のない黒い音符
⠠⠠		X形の音符
⠠⠠		音符のような縦の符尾
⠠⠠		ひし形か三角形の音符
⠠⠠		(音符のように) おおよその音の高さを示す斜線の末尾

1 3 - 2

現代音楽の墨字での表記法は、まだ標準化されていない。ひし形の音符は、ピアノでは音を鳴らさずに鍵盤を押し下げることの意味しているかもしれないし、フルートやいくつかの民族の楽器では“氣息音の交じった”音であるかもしれない。従って、点字表記法では、その意味よりもむしろ音符の形を示す。もし、ひし形の音符が弦楽器において技巧的ハーモニクスを示していたり(17-21節)、あるいは打楽器音楽の中でX形の音符が特別の楽器を指示しているならば(18-16節)、現代の記号は使うべきではない。

この章での記号は、まれな現代音楽の墨字表記法のためのものである。

1 3 - 3

これらの記号は2番目の符号を繰り返す事によって連続させることができる。すなわち、⠠⠠⠠⠠ は、黒い音符の連続である。

1 3 - 4

明確な音価が示されていない時には、例 1 3 - 5 のように 8 分音符が使われる。

1 3 - 5

例 1 3 - 5 では、全音符が黒い音符と同じように書かれている。この全音符は、古典音楽で標準とされる 4 拍を表してはいない。しかしながら、墨字記号は全音符と同じなので、点字でも普通の全音符の記号が使われる。

このトロンボーンのための曲には、調号も拍子記号もない。点線の小節線（表 1 A）と、標準的な発想記号が使われている。

例 1 3 - 5

The image shows Braille notation for Example 1 3 - 5. It consists of four lines of Braille characters. Below the Braille is a musical staff with a treble clef. The staff contains several notes, some with slurs and a 'gliss.' marking. A dynamic marking 'p' is present at the beginning. The staff is divided into measures by dotted bar lines.

1 3 - 6

例 1 3 - 6 は、フルートのためのものである。拍子記号はない。1 小節目はフラッタータンギングを示し、反復形のトレモロとして普通に記譜されている。3 小節目にはひし形の音符がある。小節毎に拍が変わるため、32 分音符の集合は使わずに、スラーによってグループ分けを明らかにしている。

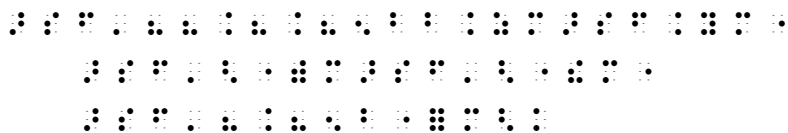
例 1 3 - 6

The image shows Braille notation for Example 1 3 - 6. It consists of three lines of Braille characters. Below the Braille is a musical staff with a treble clef. The staff contains notes with slurs and dynamic markings 'ppp' and 'pp'. The staff is divided into measures by dotted bar lines.

1 3 - 7

例 1 3 - 7 は、同じフルート曲からの X 形の音符である。演奏指示によると、これらは“キイをたたく”音符である。もちろん、すべての演奏についての注意書きは、点訳物に記す。

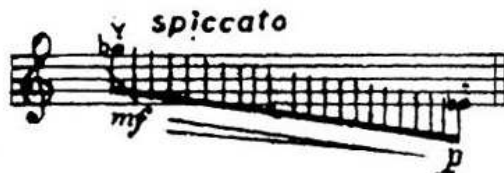
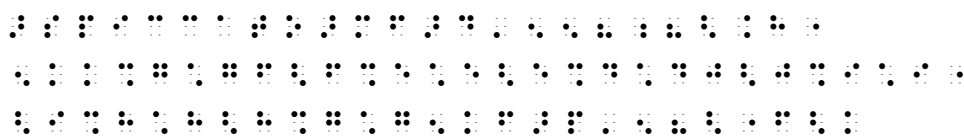
例 1 3 - 7



1 3 - 8

例 1 3 - 8 には、始めと終わりの音の間にある、可能な限りの 1 4 の半音以上である 20 の符尾が、示されている。いくつかの異名同音の音符を含むことにより、点訳者はどこに 4 分の 1 音を使うかを明記することなく、このアイデアを伝えるのである。それは、演奏者にまかせられることになる。点訳物の注意書きには、墨字の符尾記号と同様、点字での音の高さはおおよそでしかないということを明確にすべきである。このグループの初めに付けられた斜線は、短い前打音を示す方法である。

例 1 3 - 8

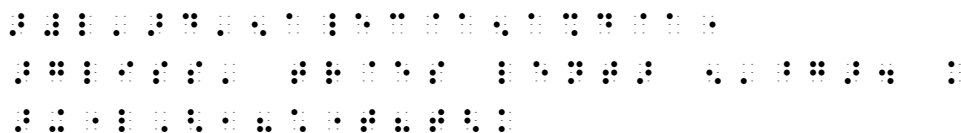


1 3 - 9

例 1 3 - 9 では、斜線の最後は音符のように、おおよその高さを示している。もし音価の指示が与えられていたならば、グリッサンドの長さは分別記号か、部分けの中の指示で示すことが出来る。

この例は、点線の小節線と音部記号が記されている。拍子記号が書かれていないので、短い音符の分別記号が 32 分音符の前に書かれている。

例 1 3 - 9



B. クラスタ（音のかたまり）

表 1 3 B の記号

⋮ ⋮ ⋮	ナチュラルのついたクラスタ
⋮ ⋮ ⋮	フラットのついたクラスタ
⋮ ⋮ ⋮	シャープのついたクラスタ
⋮ ⋮ ⋮	臨時記号がついていないクラスタ

1 3 - 1 0

墨字では、クラスタは和音の 2 つの音の間に太い線や他の形が書かれ、2 音間のすべての音が同時に演奏されることを表している。時に、臨時記号が記されている。点字ではクラスタは和音として扱うので、書かれた音と音程の間に適切な記号を記す。クラスタの記号は 3 マスよりなる。

4・5 の点、⋮ で始まり墨字に書かれた臨時記号を記す。もし一つもない場合は、2・6 の点 ⋮ を間に記す。この記号は、1・2 の点 ⋮ で終わる。

1 3 - 1 1

クラスタ記号は、最後のマス（1・2 の点）を 2 回記すことで連続することが出来る。すなわち、⋮ ⋮ ⋮ ⋮ のようにである。




1 3 - 1 2

次の例では、墨字のクラスタは、それぞれ違う書き方をされている。(a)では、両方に先端のついた矢印が、D 音（レ）と 5 度下の音程を結ぶ符尾の隣に記されている。シャープとナチュラルの両方の記号が丁度、矢印の左側に

書かれているので、点字では両方の臨時記号はクラスター記号の間に記される。(b)では、2つのF音（ファ）の符尾が、両方のF音（ファ）とその間を囲むように付いている。これはクラスターを示している。墨字でも点字でも、臨時記号はない。

(c)では、クラスターであることを示すために、太い縦の線が2つの音符を結んでいる。第2音列のA音（ラ）にシャープ、第3音列のA音（ラ）にナチュラルがつけられている。それゆえに、これらの変化音はクラスター内の音よりも、これらの特定の音につけられていることを表している。

例 1 3 - 1 2

(a)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	
(b)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	
(c)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	

C. 扇形リズムのグループ

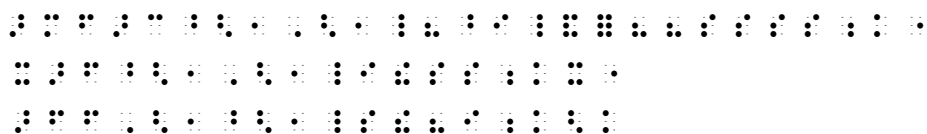
表 1 3 C の記号

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	リズムのグループ内でのアッチェレランド
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	リズムのグループ内でのリタルダンド
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	一定のリズム
⠠⠠	墨字で示されたリズムのグループの終わり

1 3 - 1 3

リズムのグループの連結線が平行線ではなく扇形をしている時は、グループ内の音符はアッチェレランドかリタルダンドのように演奏されるものである。通常長さの音符が使われているが、グループはアッチェレランドやリタルダンドの記号が先に来て、終わりの記号が後に続く。もし連結線が一カ所から始まって、続く音符が扇形に広がっているならば、アッチェレランドを示している。もし扇形が逆であれば、リタルダンドを示している。

例 1 3 - 1 3

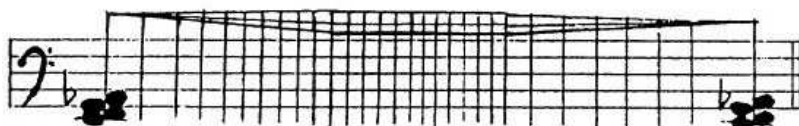
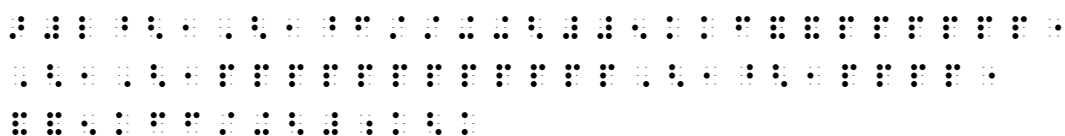


1 3 - 1 4

リズムのグループ内で連結線の終わる前に扇の形が変わる場合は、変わる場所で上述の記号が使われる。墨字で連結線が扇形ではなく平行になっているならば、一定のリズムのための記号が使われる。

例 1 3 - 1 4 は Bayan (訳注：ロシアのアコーディオン) のための音楽からである。墨字では、最初と最後の和音の間に符尾だけが書かれているので、垂直の符尾のための記号が使われ、連続にする。

例 1 3 - 1 4



D. 他の記号

表 3 A と 3 B の記号

⠠⠠	⠠⠠	4分の1音ピッチを变化する
⠠⠠	⠠⠠	4分の3音ピッチを变化する
⠠⠠⠠⠠		拍子記号：4分音符上の4拍子
⠠⠠⠠⠠		拍子記号：8分音符上の3拍子

表 1 0 の記号

⠠⠠⠠	四角いフェルマータ
⠠⠠⠠	テントの形のフェルマータ

例 1 3 - 1 7

1 3 - 1 8

拍子記号に音符が書かれている時は、6 と 3 の点をその前に記す。墨字での音価を示す為に、C 音（ド）を使う。下記の拍子記号の最初のもは、付点 16 分音符上の 3 拍子である。次は付点 16 分音符上の 4 拍子である。この音楽はコントラバスのための独奏曲からのものである。

例 1 3 - 1 8

1 3 - 1 9

その他の変わった拍子記号には、2つの拍子が並んでいるものや、上の数字が2つ以上のものがある。これらの数字の間は、スペースやプラス記号やハイフンが記される。一般に墨字に従う。プラス記号が入っている時は、それぞれの国での記号を使う。例 1 3 - 1 9 では2つの例を示した。最初の方は、2つの拍子記号は墨字でも点字でも並んでいる。2つ目の拍子記号は8の上の4プラス2プラス3である。

例 1 3 - 1 9